

MEX Newsletter

Matsumoto International Exchange Committee

グリンデルワルト村から 公式訪問団をお迎えしました

◇4月25日(火)～27日(木)



姉妹都市提携45周年を記念し、グリンデルワルト村からアンデレック村長を团长とした26名の訪問団が松本市を訪れました。到着日には、パロ駐日スイス大使ご臨席のもと、松本市主催の公式歓迎夕食会を開催しました。

翌日、訪問団は松本市役所を表敬訪問し、歓迎あいさつの中で菅谷市長は、「3年前に植樹した菩提樹の成長とともに、両市村の交流が発展することを願う」と述べました。



▲日本とスイスの国交樹立150周年を記念して植樹した菩提樹の横で

その後、訪問団は安曇地区の歓迎昼食会に参加し、迫力のある太鼓の演奏で歓迎を受けました。太鼓の演奏体験や歌の披露などを通じて、姉妹都市交流の原点でもある安曇地区の皆さんとの交流を深めました。



▲地元の子供たちと、あやとりを通じて交流

滞在3日目には、上高地の開山祭に参加しました。神事や獅子舞、太鼓の演奏などを見学した後、訪問団は、雄大な穂高連峰を背にスイス・ベルン州の歌を披露しました。
訪問団員からは、「上高地の美しい風景はスイスと共通」、「厳かな雰囲気の中行われる神事がとても日本らしく、松本や日本のことを一層好きになった」との声が聞かれました。



▲開山祭にて歌を披露する訪問団

台湾高雄市を 公式訪問しました

◇5月11日(木)～15日(月)



台湾への国際チャーター便の運航にあわせ、松本市が「健康・福祉・教育分野の交流に関する覚書」を締結している高雄市を、菅谷市長、犬飼市議会議員、健康・福祉関係団体市民、教育訪問団として教育長をはじめ、教員や中学生ら総勢37名が公式訪問しました。



▲信州まつもと空港を出発する中華航空機

高雄市政府への表敬訪問では、陳菊市長をはじめ、今回交流事業を行った健康・福祉・教育分野の各局長ほか多くの政府関係者に、心温まる歓迎を受けました。両市が交流について意見を交換し、今後の交流推進について確認しました。



▲(右)陳菊高雄市長

健康福祉訪問団は、高雄市で最大の高齢者福祉施設「長青高齢者総合サービスセンター」を訪れ、利用者の皆さんとともに「太極拳」による健康づくりを体験し、昼食時には、本市の食生活改善推進員手作りの「減塩みそ汁」や「凍り豆腐の含め煮とほうれん草のおひたし」を振る舞い、交流を深めました。



▲福祉施設での太極拳の体験

合わせて訪問した社会局婦人館入り口には歓迎メッセージが掲示され、社会局局长をはじめとする関係職員の皆さんや、運営を担っているボランティアの方々には歓迎を受けました。視察では、高雄市の女性施策として、教育文化・社会参与・

LGBTと各民族を尊重する取組や、子どもの健全な成長をサポートするさまざまな少子化・子育て対策の説明をお聞きしました。多くのボランティアの方々が生き生きと活動されている姿に深く感銘を受けました。

教育訪問団は、高雄市のパートナー校として交流のある旭町中学校、鎌田中学校、開成中学校の生徒たちが訪問しました。12日に高雄市立鳳甲国民中学校を会場に行われた交流では、英語の授業に参加し、お互いの文化や学校の紹介を行うなど、友好を深めました。

主な内容

- ① 高雄市政府表敬訪問
- ② 日本台湾交流協会高雄事務所表敬訪問
- ③ 健康寿命延伸施策の情報発信及び高雄市健康施策意見交換（食生活改善、福祉ひろばの活動紹介、デイサービスセンター等健康福祉施設視察）
- ④ 学校訪問による教育交流（旭町中、鎌田中、開成中の生徒）

駐日中国大使館
陳浄(ちんそう)参事官が
来松しました

◇5月9日(火)



松本日中友好協会の招きで駐日中国大使館の陳浄(ちんそう)参事官が松本を訪れました。同会の定期総会後、「中日文化交流およびその最新事情」をテーマに講演会が開催され、陳浄参事官は、両国の文化交流の歴史は長く、両国の明るい未来を築くためには、より一層の文化交流を進める必要があると述べました。文化的な側面から日中友好について、あらためて考える有意義な機会となりました。



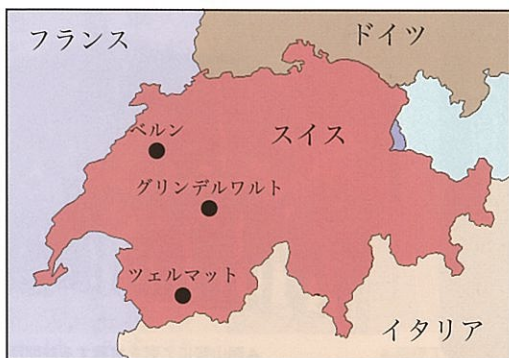
▲講演する陳浄(ちんそう)参事官

グリンデルワルト村を
公式訪問しました

◇7月6日(木)～12日(水)



グリンデルワルト村からの公式訪問団をお迎えしてから約2か月後、7月6日から7日間の日程で、グリンデルワルト村を公式訪問しました。今回は、菅谷市長、上條市議会議員、一般公募の市民による総勢23名での訪問でした。



成田空港出発後、約12時間のフライトを経てチューリッヒ空港に降り立った訪

問団一行は、首都ベルンへと向かいました。世界遺産にも登録されている中世からの美しい街並みや国会議事堂などを見学した後、グリンデルワルト村へと移動しました。

グリンデルワルト到着翌日は、新たなゴンドラの建設計画である、「Vバーン計画」について、ハウスヴィルト観光局長から説明を聞き、世界的な観光地の先進事例を学びました。



▲Vバーン計画の説明を聞く

好天にも恵まれ、一行は、雄大なアルプスを望むコースでのハイキングやヨーロッパで最も高所に位置する登山鉄道駅・ユングフラウヨッホからのアレッチ氷河の眺めを楽しみました。好天から一転、グリンデ

ルワルト村に向かって山を下っている途中から、雨が降り始めました。

グリンデルワルト村役場に到着した一行は、アルプホルンの演奏やスイスの子供たちによる歌の披露などで迎えられ、菅谷市長と上條議長が、村役場の前庭に友好の証として「カエデ」を植樹しました。アンデレック村長からは、「あいにくの天気だが、『雨降って地固まる』との日本のことわざのように、両市村の友好関係が一層深まってほしい」とあいさつがありました。



▲友好記念植樹

夜には、グリンデルワルト村主催の公式歓迎夕食会が開催され、盛大な歓迎を受けました。植樹に引き続きご臨席を賜った本田駐スイス日本大使からは、「松本市とグリンデルワルト村はお似合いのカップルだ」といったお言葉をいただき

ました。

グリンデルワルト村滞在の最終日には、村内の老人



▲アンデレック村長に記念品を渡す

介護施設を視察し、スイスにおける福祉の現状を学びました。



▲老人介護施設にて

変わらぬ友好関係と、今後の交流のさらなる発展を確かめあつた公式訪問でした。次回の公式訪問は、平成33年を予定しています。

主な内容

(7月6日(木)～12日(水)、6泊7日)

- 第1日目 松本発 ヘルン着
- 第2日目 グリンデルワルト着
- 第3日目 Vバーン計画の視察、友好記念植樹、公式歓迎夕食会
- 第4日目 老人ホーム視察
- 第5日目 ツェルマット視察
- 第6日目 チューリッヒ発 (機中泊)
- 第7日目 松本着

日中友好都市中学生卓球交歓大会に参加しました

◇8月1日(火)～8日(火)



本年度、日中国交正常化45周年を迎えることを記念し、8月4日から3日間の日程で、北京市にて日中友好都市中学生卓球交歓大会が開催されました。これは、日本全国の自治体が、それぞれの友好都市との合同



▲松本市・麻坊市合同チーム

チームで参加する大会で、松本市からは、松本卓球連盟・日中友好協会所属の小原秀元さんを団長に、宮田汐都選手、中村桃佳選手を含めた4名が参加しました。選手たちは、言葉は通じなくとも、合同での練習や試合でボールを交わすにつれ、すっかり打ち解けている様子でした。今回の大会では、卓球を通じて両国青年の友好交流の輪が広がりました。平成30年度は県内で同様の大会が行われ、麻坊市の選手団をお迎えする予定です。

第28回 信濃の国 楽市楽座に出展しました

◇10月14日(土)～15日(日)



松本市海外都市交流委員会では姉妹・友好都市を市民の皆さんに広く知っていただくために、毎年楽市・楽座へPRブースを出展しています。本年度は、カトマンズ市に焦点を当て、ヒマラヤや町の様子を写真で紹介し、ネパールのカレーや手工芸品のチャリティー販売を行いました。(チャリティー売上の寄贈については、裏面の報告記事をご覧ください。)



▲取材を受ける姉妹・友好都市紹介ブース

グリンデルワルト村をPRしました

◇11月25日(土)～26日(日)



まつもと市民芸術館で開催された山岳フォーラムにグリンデルワルト村から日本語観光案内所の安東所長をお迎えして、同村の魅力をPRするブースを出展しました。山に高い関心をお持ちの来場者の皆さんに、姉妹提携45周年を迎えた友好関係を紹介するとともに、姉妹都市グリンデルワルト村を紹介することができました。



▲グリンデルワルト村紹介ブース

カトマンズ市を訪問し、学用品を届けました

◇1月20日(土)～24日(水)



楽市楽座に出展したカトマンズ市のPRブースで行ったカレーや手工芸品のチャリティ販売の売り上げを、カトマンズ市内の学校へ、学用品に替えて寄贈しました。

鈴木カトマンズ部会長、山内事務局長らがカトマンズ市を訪問し、市中心地カマルポカリ地区にある公立学校に通う子供たちに、通学カバン、ノート、防寒セーターを手渡しました。



▲生徒達による出迎え

子供たちのダンスによる歓迎で始まった贈呈式には、カトマンズ市のシャクヤ市長、副市長を始め、地区の関係者等多くが出席しました。市長からは、支援に對しての感謝のほか、姉妹都市交流が行政間に留まらず、民間の交流に発展していることは大変喜ばしいという言葉がありました。



▲学用品を手渡す鈴木部会長



▲市長表敬訪問にて(中央:シャクヤ市長)

また、今回の訪問では平成27年4月に発生した地震で被災した武道館の修復状況の確認を行いました。工事は当初の予定からは大幅に遅れているものの、カトマンズ市によると、今後数カ月で完了する見込みとの説明がありました。松本市と松本市海外都市交流委員会では、引き続き工事の状況を見守っていきます。



▲修復工事が進む武道館

松本市とカトマンズ市は平成31年に姉妹都市提携を結び30年の節目を迎えます。なお、今回の訪問では、松本ヒマラヤ友好会カトマンズ支部の皆さんに全面的にご協力をいただきました。

お知らせ

1. 会費納入のお願い
海外都市交流委員会は会員の皆さんの会費で運営されています。今年度の会費のお支払いが済みでない方は、お早めにお願いたします。振込先は次のとおりです。

八十二銀行

松本市役所出張所

(普通) 103120

松本市海外都市交流委員会

2. 会員募集中!

松本市海外都市交流委員会では新たに入会を希望される方を募集しています。既に国際交流をされている個人・団体はもちろん、国際交流に関心をお持ちの方はどなたでも歓迎いたします。年会費は、個人2千円、団体1万円。お申し込みは事務局(松本市都市交流課 ☎34-3193)までお願いいたします。